

参考資料 2 脳・心臓疾患の労災支給決定件数

第6回 労働政策審議会労働条件分科会
自動車運転者労働時間等専門委員会トラック作業部会

厚生労働省 労働基準局 監督課

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

脳・心臓疾患の業種別支給決定件数

- ▶ 令和2年度の脳・心臓疾患の支給決定件数に占める道路貨物運送業の割合は、28.3%と最も高かった。

(厚生労働省調べ)

【令和2年度】（2020年度）

業種 \ 種類	脳・心臓疾患
道路貨物運送業	28.3% (55件)
道路旅客運送業	1.0% (2件)
全業種	100% (194件)



【平成21年度】（2009年度）

業種 \ 種類	脳・心臓疾患
道路貨物運送業	22.1% (65件)
道路旅客運送業	6.4% (19件)
全業種	100% (293件)

※ 平成21年度より中分類を集計

脳・心臓疾患の職種別支給決定件数

- ▶ 令和2年度の脳・心臓疾患の支給決定件数に占める貨物自動車運転者の割合は、27.3%で最も高かった。

(厚生労働省調べ)

【令和2年度】(2020年度)

職種 \ 種類	脳・心臓疾患
貨物自動車 運転者	27.3% (53件)
乗用自動車 運転者	1.0% (2件)
バス 運転者	0.5% (1件)
全職種	100% (194件)

【平成21年度(2009年度)

職種 \ 種類	脳・心臓疾患
貨物自動車 運転者	22.1% (65件)
乗用自動車 運転者	5.1% (15件)
バス 運転者	0.6% (2件)
全職種	100% (293件)



脳・心臓疾患の業種別支給決定件数の雇用者数に対する割合

- ▶ 令和2年度において労災（脳・心臓疾患）支給決定件数と、雇用者数とを対比すると、道路貨物運送業は全業種平均の9倍であった。

（「労働力調査」（総務省）及び厚生労働省調べ）

【令和2年度】（2020年度）

	雇用者数	支給決定件数	全業種の雇用者数に対する支給決定件数割合を1としたときの比率
全業種	5,962万人	194件	1倍
運輸業, 郵便業	336万人	58件	5.3倍
道路貨物運送業	188万人	55件	9.0倍
道路旅客運送業	42万人	2件	1.5倍
建設業	402万人	27件	2.1倍
医療, 福祉	837万人	8件	0.3倍

【平成21年度】（2009年度）

	雇用者数	支給決定件数	全業種の雇用者数に対する支給決定件数割合を1としたときの比率
全業種	5,457万人	293件	1倍
運輸業, 郵便業	331万人	85件	4.8倍
道路貨物運送業	174万人	65件	7.0倍
道路旅客運送業	55万人	19件	6.4倍
建設業	419万人	30件	1.3倍
医療, 福祉	599万人	9件	0.3倍

